

授業科目名	地域コミュニティ論	担当教員	古賀 弥生 西崎 伸子
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2年 第1クォーター		
講義内容	人口減少をはじめとする社会の現状や人と人、人と社会とのつながりの希薄化などを背景として、地域コミュニティには多くの課題が存在する。その課題の解決には「公」「共」「私」それぞれの領域における取り組みとその連携が必要である。この授業では、地域コミュニティの課題と課題解決に向けた実際の活動の枠組み、手法を理解し、自らが地域に参画する姿勢を身につけることを目標とする。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティに関わるキーワードを正しく理解し説明できる ・履修者各自が理想とする地域コミュニティ像を語るができる ・その理想像に近づくための行動を起こす意欲を持つ 		
授業計画	<p>1. イントロダクション/地域コミュニティとは?～「地元」の地域コミュニティを考える (古賀)</p> <p>基本的な概念と言葉の定義を整理し、履修者各自の経験と文献資料等からコミュニティの課題を抽出する</p> <p>2. 人口減少の現状と課題 (古賀)</p> <p>「人口」の概念整理と人口減少によって引き起こされる地域課題、それに立ち向かうコミュニティの取り組みについて知る</p> <p>3. 空き家問題と地域コミュニティ (古賀)</p> <p>高齢化の進展により都心部も含めて問題化している空き家について、解決に向けた地域コミュニティでの取り組みを学ぶ</p> <p>4. 居場所づくり/社会関係資本について (古賀)</p> <p>コミュニティにおける安全安心な「居場所」の意義を検討し、社会関係資本の本概念を学ぶ</p> <p>5. 孤独孤立と社会的処方 (古賀)</p> <p>孤独・孤立を防ぐ地域コミュニティのあり方を知る</p> <p>6. まちづくりと地域コミュニティ (ゲスト・古賀)</p> <p>地域コミュニティの課題にアプローチし、まちづくりへとつなぐ活動を</p>		

	<p>ストスピーカーの経験から学ぶ</p> <p>7. 震災とまちづくり（西崎） 地域コミュニティに期待される防災への取組みや災害復興における役割を 阪神淡路大震災と東日本大震災から考える</p> <p>8. 環境とまちづくり（西崎） 地域コミュニティの担い手としての自治体や市民社会の取組みについて、 水俣事件以降のまちづくりに焦点をあてて学ぶ</p> <p>9. 多民族社会とまちづくり（西崎） 日本における移民政策の現状と、移民を含めた地域コミュニティのあり方 について学ぶ</p> <p>10. ジェンダーと地域コミュニティ（西崎） 地方社会におけるジェンダー課題と、課題にアプローチする方策を豊岡市な どを事例に学ぶ</p> <p>11. 地域コミュニティとは？（西崎） 7～11回までの学修内容を踏まえて、コミュニティ理論をふまえながら 「地域コミュニティとは何か」を再検討する</p> <p>12. まとめのテスト（西崎） 7～11回目までの学修内容について、履修者がそれぞれまとめ、整理する</p>
事前・事後 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業テーマに関連したキーワードを提示するので事前に文献等で学習すること。 ・次の講義の前に、参考資料を用いて前回の授業内容を復習すること。
テキスト	なし。各回の授業において資料を配付する
参考文献	授業内で適宜紹介する
成績評価 の基準	授業内で実施する小レポート（リフレクション）40%、課題レポート（前半）30%、テスト（後半）30%により評価する
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	該当しない。
備考欄	<ul style="list-style-type: none"> ・定員を超えた場合は抽選を行います。 ・この授業は「地域創生論」「地域創生実習」と関連します。合わせて履

	修することを推奨します。
--	--------------